

# 今後の国土の幹線となる道路に関する制度等のあり方について (回答様式)

## 【アンケートの対象とする道路】

以下のアンケートのうち、

- ・1については、高速道路会社の管理する高速道路についてお答え下さい。
- ・2、3、4については、高速自動車国道をはじめとした国土の幹線となる道路(直轄国道を含む:以下「国土幹線道路」とする)についてお答え下さい。

注)文中で【別紙 〇】とあるのは、別紙参考資料を指します。回答の参考にして下さい。

注)文中で【資料 p 〇】とあるのは、第1回国土幹線道路部会(平成24年11月20日)の配付資料を指します。下記 URL よりダウンロードし、回答の参考にして下さい。

[http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/road01\\_sg\\_000115.html](http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/road01_sg_000115.html)

自治体名 鳥取県 鳥取市

## 1. 今後の料金制度のあり方

高速道路会社の管理する高速道路の料金については、民営化時の割引導入後、経済対策で追加された利便増進事業による割引の期限が平成25年度末となっています。このため、今後、料金割引の見直しを行う必要があり、あわせて、料金体系を利用者にとって公平でわかりやすいものに再編することについても考える必要があります。そこで、今後の料金制度のあり方について、質問します。

問1-1 今後の料金制度については、高速道路のあり方検討有識者委員会がとりまとめた「今後の高速道路のあり方 中間とりまとめ」(平成23年12月9日)(以下、「中間とりまとめ」とする。)において、

今後の料金制度の基本的な考え方  
(基本となる考え方)

- ・公正妥当な料金の実現と低減への努力
- ・安定的でシンプルな料金制度の構築
- ・弾力的な料金施策等による交通流動の最適化

(具体的な方向性)

- ・料金制度のあり方: 対距離料金を基本とし、水準(料率)は全国で共通  
料率を高くする区間でも、他区間と大きな料金差とならないよう留意  
交通需要等により料率を変動
- ・料金施策の方向性: 様々な政策課題に対応するため、きめ細やかな料金とすることが妥当  
効果を精査した上で導入し、PDCA サイクルで評価、継続・見直しを検討

とされているところですが、この提言についてどのようにお考えになりますか。

[http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/hw\\_arikata/chu\\_matome2/matome.pdf](http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/hw_arikata/chu_matome2/matome.pdf)

地方経済の活性化を図るためには、高速道路を活用した物流振興が重要である。より一層の高速道路の利用促進のためには、提言のように公正妥当な料金制度であるべきと考える。

問1 - 2] これまで、高速道路の料金割引として、民営化時に導入した割引や、利便増進事業による割引等が導入されてきましたが、その内容についてどのようにお考えになりますか。

【別紙1, 2, 3, 4】【資料6】

一定の利用促進効果があったと思われるので、可能な限り、安価な料金体系となるように引き続き割引制度の検討は必要と思われる。

問1 - 3 利便増進事業による割引の期限は平成25年度末となっています。平成26年度以降の料金割引について、一般道路の渋滞解消、地域活性化、物流コストの低減など、重視する点をどのようにお考えになりますか。

また、厳しい財政状況の下、債務の確実な返済や国民負担の最小化など、民営化の考え方も踏まえつつ、割引をどのようにすべきとお考えになりますか。

なお、割引の拡大や、利便増進事業による割引の継続のためには、様々な工夫を行った上でもなお、償還計画の見直しや税金の投入など、何らかの財源確保策が必要となる可能性があります。その場合、どのようにすべきとお考えになりますか。

地方都市にとっては重視すべきは、高速道路を活用した経済活性化である。特に鳥取県は高速道路後進県として、高速道路ネットワークから取り残されているため、利用増進に係る取組は重要と考えている。

厳しい財政事情の下、受益者負担や世代間の負担の公平の観点から、一定の国民負担は必要であるが、経済対策の一環として景気回復までは当面割引制度を延長すべきと考える。

高速道路ネットワークの整備は我が国の防災体制や経済発展にとって必要不可欠であり、整備推進のため、国の責務において償還計画の見直しや税金投入等の必要な手段を弾力的に講じるべきと考える。

問1 - 4 この他に高速道路の料金施策に関するご意見がございましたら、お聞かせ下さい。

高速道路ネットワークはまだ完成していないので、有料制度を継続しつつ、計画中の路線の整備を完了させること。

ただし、新直轄方式の整備路線についてはあくまで無料とし、地域振興上有益に活用されるように直轄管理を行うこと。

## 2. 今後の維持更新のあり方

高速道路をはじめとした国土幹線道路については、今後、構造物の老朽化が進むなか、大規模更新の需要が高まることが見込まれますが、維持更新については、適切な維持管理を行いながら、ライフサイクルコストの縮減に努めているところです。そこで、今後の維持更新のあり方について、質問します。

【別紙5】【資料3 p32～42】

問2 - 1 今後の高速道路の維持更新のあり方については、「中間とりまとめ」において、

(基本となる考え方)

・債務の確実な償還と将来の更新等への対応

(具体的な方向性)

・更新費用等と償還の扱い : 更新費用等への対応は、厳しい財政状況も踏まえつつ、償還期間延長、償還対象経費の見直し、償還後の継続的な利用者負担を含め、幅広く検討

とされているところです。

無料の直轄国道を含む国土幹線道路の大規模更新需要に対応するために必要な費用について、世代間の負担のバランスおよびその財源をどのようにお考えになりますか。

(無料の国土幹線道路においては、現在の維持更新は税金により実施しています。有料の国土幹線道路においては、現在の維持更新は料金収入により実施し、大規模更新に必要な費用は、現在の償還計画に含まれていません。)

安全・安心な国土形成のためには、社会資本の適正な維持管理、大規模更新が必要であり、それらの財源は、基本的に国の責務において実施するのが妥当であるが、厳しい財政事情もあり、一定割合を国民に対して負担を求め、世代間バランスを考慮した償還体系をとることはやむを得ないと考える。

問2 - 2 この他に維持更新に関するご意見がございましたら、お聞かせ下さい。

中央道のトンネル崩落事故のような事例が起らないよう、維持管理・点検等の予算措置に万全を期されたい。

### 3. 今後のネットワークのあり方

高速道路のネットワークのあり方については、「中間とりまとめ」において、

明確なプライオリティに基づく戦略的整備 ~ 最優先で取り組む2本柱 ~

- 1) 「日本経済を牽引する拠点地域」として大都市・ブロック中心都市におけるネットワークの緊急強化  
環状道路など抜本的対策の加速  
ボトルネック箇所への集中的対策  
運用改善等の工夫
- 2) 「繋げてこそそのネットワーク」を改めて認識し脆弱な地域の耐災性を高め、国土を保全するネットワーク機能の早期確保  
走行性の高い国道の活用や完成2車線の採用  
簡易ICの増設  
防災機能の付加

とされているところです。

【別紙6, 7 - 1, 7 - 2, 7 - 3】【資料3 p3~8】

**問 3** 今後の国土幹線道路のネットワークのあり方について、どのようにお考えになりますか。

大都市集中型社会から地方分散型へと社会構造を転換し、地方が本来持つ活力を引き出していくため「地域主権改革」の推進が求められており、地域主権の体制を整えるためにも国土の均衡ある発展に繋がるインフラ整備は国家戦略上重要な課題である。

高速交通網は我が国の重要な経済基盤であるとともに、地方が抱える様々な課題の解決や持続的な発展、地域間交流の促進を図る上で極めて重要であり今後より一層の整備推進が求められている。また、震災などで道路や橋が機能不全に陥った場合、生活や産業活動に大きな支障が生じるというリスクを回避するため、代替手段をあらかじめ確保するリダンダンシーが求められている。

「地域主権改革」の推進や、東日本大震災で重要性が再認識された「日本海国土軸」形成のため、高速道路網のミッシングリンクを解消し、本市をはじめとする山陰地方の高速交通基盤の早期整備によるネットワーク化が急務である。

## 4. 今後の整備・ネットワーク管理の手続きのあり方

高速自動車国道や一般国道など、道路の種別により、都道府県や第三者機関への意見聴取など、整備に至る手続きは異なります。

高速道路の整備プロセスの扱いについては、「中間とりまとめ」において、

### 整備プロセスの透明化

- ・道路種別に関わらず、主要な幹線道路について、整備プロセスをできる限り充実
- ・高速道路だけでなく、並行する国道などを対象に、例えば、整備計画の制度やその決定の際に意見を聞く第三者機関など、整備プロセスを整理するとともに、その位置付けを明確にし、国民に分かりやすい形で伝達することが重要

とされているところです。

【別紙8】

問 4 整備の手続きの現状と今後のあり方について、どのようにお考えになりますか。

国土の強靱化に必要不可欠な主要路線の整備については、高速道路・国道等を問わず、新たな国土形成のグランドデザインの中に体系化し、整備プロセスを統一化・明確化することが必要と考える。